

# BeNews

2009 AUTUMN

## 別府大学通信 NO.99

特集1・国際経営学部が「始動」	
社会が必要とする人材とは ……………	2
どのような学びの場に ……………	8
教員も生徒も張り切ってます！ ………	9
特集2・「別府大学60周年」に向けて	
文学部60年の歩み(1) ……………	10
発酵食品学科が目指すもの ……………	11
短大だより ……………	12
学園だより ……………	13
研究室探訪 ……………	16
2008年度の進路状況 ……………	17
輝け！新入生 ……………	18
サークル紹介 ……………	19
学園アラカルト ……………	20
私が薦める本 ……………	21
新任者紹介 ……………	22
事業報告・財務状況 ……………	26



「夢で」山田加奈子

# 社会が必要とする人材とは

大分銀行小倉義人取締役頭取、別府大学西村明学長対談 (司会・佐藤哲哉国際経営学部長)



学校法人別府大学は、平成21年4月に国際経営学部を開設しました。新入生らは早くもグローバル社会への飛躍に夢を馳せ、教員らは「専門性」だけでなく「人」の育成も充実させるべく努力を続けています。世界に発信する「地域発の教育」とは。社会はどのような人材を必要とするのか。大分銀行の小倉義人取締役頭取、別府大学の西村明学長に「グローバル化と地域」「人材育成」などについて意見を交わしていただきました。

## 恐れることなくチャレンジを(小倉頭取)

佐藤哲哉・国際経営学部長 この対談は別府大学国際経営学部が開設されたのを機に企画させていただきました。小倉頭取には対談にご快諾を頂き誠にありがとうございます。

さて、大分銀行のコーポレート・メッセージは「地域をみつめ、未来をみつめ」であると伺っています。一方、別府大学も「地域社会への貢献」と「21世紀の知識基盤社会で活躍できる人材育成」を目指しております。金融サービスと研究・教育という異なった分野ではありますが、両者とも地域との結びつきが密接であり、目的を共有しています。

大分銀行は地域の金融機関として確固たる基盤を築いておられます。事業の中心地である大分の経済的な特徴をどのようにお考えですか。また別府大学への期待を伺えればと思います。

小倉義人・取締役頭取 大分の経済的な特徴は大きく3つあると考えています。

第1の特徴は、大分県は九州でもトップクラスの産業集積地であるということです。1964年の新産都指定以降、1960～70年代の昭和電工や新日鐵、80年代の東芝・キャノン、近年ではダイハツ九州といった主要企業が多く大分県に進出しています。直近の10年間でも県の努力に

より100社以上の進出が実現しており、進出企業と地場産業との連携・協力によって大きく発展してきました。

大分の経済は日本経済の縮小版とも言われ、進出企業による経済効果は高く、大分の県民所得は九州トップクラスで、有効求人倍率も高い水準で推移していました。しかし100年に1度と言われる世界同時不況以降は、その影響をどこの地区よりも早く受けてしまったといえます。大分県の経済力を語る上でこれらの進出企業による恩恵をさけることはできないと思います。

第2の特徴は産業集積地でありながら、本来「おおいた」の持つ「自然」がそのまま活かされているケースが多く、「食」や「観光資源」に恵まれているという点です。耕作地面積は全国耕作地面積の1.3%と少ないのですが、平松県政時代からの「一村一品運動」により、カボス・乾シイタケ・サフラン・まだけ(竹)等は全国ナンバー1です。漁業関係ではたちおの漁獲量やひらめの養殖収穫量も全国1位です。また温泉源泉数や湧出量も全国一で、自然の恵みも豊富であると言えます。関アジ、関サバといったブランド戦略や、湯布院は町全体によるブランド化の活動が盛んですし、県南では食を活かした広域観光活動も行われています。いずれも大分という土地から産出される自然の恵みを活かした経済活性化の活動であるといえます。

第3の特徴は、大分市・別府市という大分県の中心都市が中心市街地活性化計画により、これから「より暮ら

しやすく、訪れやすくなる」ということ。加えて東九州自動車道がさらに延長されれば、インフラ整備による生活や経済効果は大きく、これからの経済発展も十分に可能性があるということです。今から社会に羽ばたこうとする学生たちは、発展の可能性が大きい「大分県」の将来を担う「若木」であり、地元の大学である別府大学さんには是非個性を伸ばすご指導をお願いしたいと考えます。企業は、創造性が豊かで、「実行力」のある人材を求めています。大学は社会に出る為の教養・知識を学ぶ場所ではありますが、いろいろな人とのコミュニケーションの場でもあります。多くの「人」に学び、それが社会人になって大切なものになるということを経験する機会を創っていただきたいと思いますが、『クラーク博士が『少年よ大志を抱け』と言っていますが、「利己心を求めるのではなく、人間としてあるべき姿をもとめる「志(こころざし)」を抱けるようになりなさい」という意味です。社会に羽ばたく前にそのような体験と学習の機会があるとよいと思います。その意味において、学生さんたちも恐れることなく、いろいろな新しい出来事にチャレンジして欲しいと思います。

佐藤学部長 大分銀行は地域社会への貢献として幅広い経営努力をされており、中でも地域密着型の金融への取り組みに力を入れておられます。それについてお話を伺えますか。

小倉頭取 私ども大分銀行は、『地域社会の繁栄に貢献するため、銀行業務を通じ最善をつくす』という経営理念を掲げています。つまり当行の発展は大分の発展と共にあるということ。この経営理念は「地域密着型金融の推進」の方向性と同一であり、平成20年4月よりスタートした「新中期経営計画」の中で、お取引先の経営支援強化、中小企業に対する融資手法の多様化、地域経済への貢献という3つの重点施策を策定し地域密着型金融の更なる機能強化に取り組んでおります。大分の発展なしに当行の発展はないと考えています。その意味におきましても時代が求めている方向性や経営者が抱えている潜在的ニーズを知るという一層のリレーション強

化を図る必要があると考えています。

## 世界経済でリーダーになれる人材を別府で(西村学長)

佐藤学部長 西村学長は別府大学の地域への貢献を一層強めることを目的として、従来の文学部、食物栄養科学部に加え国際経営学部を開設するためにリーダーシップを発揮されました。この決断の背景となるお考えについてお話を伺えますか。

西村明学長 頭取の御指摘の通りで、九州の中で重工業都市としての大分の位置が大分の人にあまり理解されていない。もう一点は、大分は国際観光都市として都市そのものが国際化していることが認識されていない。そのような認識の下で、国際的視点でもって地域に貢献できるような人材を養成することがこれまで等閑に付されてきたのではないかと思います。大分における現実の経済基盤と人材養成との関係を見た場合、人材養成では10、20年遅れているように思われます。このような意味から、経営を国際に結び付けて研究教育を行う機関を作ること重視しました。国際経営学部の創設は、すぐに役立つと言うよりも、20、30年先の大分を見つめた場合に、つまり将来世界経済でリーダーになれる人材を別府で育てるには、今しかないという思いがあります。これが一点で、さらに、別府大学そのものを考えますと、昨年5月100周年を迎えましたが、これまで文学部を中心に食物栄養科学部が学術界のみならず、地域に大きく貢献してきましたが、これからグローバルに大学が発展していくにはそれらを支える基礎が必要であると思いました。つまり人間の本質を追究する文学部と食と健康を考察する食物栄養科学部がさらに国際的で、しかも地域に貢献できるようになるためには、国際と経営管理の視点が必要であり、そこに国際経営学部が結びつけば新たに質の高い大学が生まれるのではないかと考えたわけです。それゆえ、今後の課題は三つの学部が有機的に結びつき、どこの大学にもないユニークな教育研究体制を構築し、豊かな基礎教育と深い専門教育を備えた人材を育てる



小倉義人 取締役頭取

ことです。

佐藤学部長 さらに学長にお尋ねしたいのですが、現在世界は100年に一度といわれる経済危機に見舞われております。これに対処するための各国の経済政策や企業の経営も大きな転換を強いられております。西村学長は会長を務められるアジア太平洋管理会計学会の年次総会をこの10月から11月にかけて別府大学で開催するため準備を進められておられます。同総会では世界金融危機への対応についての議論がなされると伺っています。現在の経済の状況に対する見方、この総会の取り組みについて学長のお考えを伺えますか。

西村学長 別府大学で10月31日からアジア太平洋管理会計学会を開催します。世界的な金融危機はアメリカのサブプライムローンに端を発したのですが、世界の経済があまりにも金融に偏り過ぎたことを経営・会計学においても反省し、再検討する時期にあるかと考え、別府大学での開催に踏み切りました。

アメリカ中心に金融商品、特にデリバティブが開発され、ものづくりは意味の無いように考えられ、はては多くの失業者が世界の国々で生じております。日本の場合、ものづくりとか環境とか生態系とか、つまり経済発展と人間生活の豊かさを総合的に考え、そのような経済政策を世界に提案しうる土壌を持っているように思います。もっとも現実には、中国の経済戦略などをみると、非常

にグローバルで、ものづくりだけでなく、金融、市場なども総合的に展開していて、環境とか生態系などと言っておれない感じですね。その意味で、日本の場合はものづくりに回帰しなければならないが、現実には、グローバルな市場戦略を採用せざるをえません。しかし、トヨタなどは環境にやさしい車ということで販売高を取り戻しつつありますが、世界の経済界は将来の人類の幸せを見据えた経済戦略を展開してほしいと思います。

グローバルということを考える場合も日本は中国やアメリカの方法だけを見るのではなく、長期的な視点から、日本的な良さを展開する必要があるように思います。日本の文化に根ざしたようなグローバルな視点、経済と人間らしさとのバランスがうまく取れた経済政策が必要だと思います。このような考えから、国際経営学部でも、長期的でグローバルな視点で、人間性を基礎に経済や経営の専門を教育研究していくような方向が明確になれば素晴らしいと願っています。

## 「知恵」を保有し「人」を知る 経験で「夢」と「志」を(小倉頭取)

佐藤学部長 大分銀行では自主自立の気概にあふれ、環境の変化に適應する人材を創造するための一貫したプログラムが実施されていると伺っております。また、求める人材像として、チャレンジ、プロフェッショナル、リーダーシップなどを強調されています。銀行の経営責任者として、また、あらゆる分野の企業の経営をご覧になってのお立場から、人材育成についての頭取のお考えを伺えますか。

小倉頭取 企業経営でも同じことが言えますが、なすべき目標を持ち、使命感と情熱をもって、みんなが一致団結するところに「成果」は生まれます。そのためには「学ぶ」「考える」「計画する」「実行する」「体験する」「反省する」というプロセスが必要となります。また初志貫徹という言葉があるように「絶対に目標を達成する」という気概というか、モチベーションの維持がそのプロセスとともに必要になります。人が「世界で一人ぼっち」では生きていけないように、企業経営も従業員なしには成り立ちま

せん。新入社員でもベテラン部長でも企業の経営理念を達成するために業務を行っているわけですから、常に「志」を失うことがないようにしなければなりません。「よき経営者」は「よき部下」を育てるのも得意です。人材の「材」が「素材」のままでは企業の発展もありませんし、逆に時代に取り残されます。企業としては採用した「素材」を「財(たから)」とするために、磨き続けなければ存続できないと考えています。

佐藤学部長 さらにその観点から大学の人材育成の在り方についてご意見を伺えますでしょうか。

小倉頭取 まず大学ではいろいろな知識を学習し、それを体験して「知恵」として保有すること。またその過程の中でたくさんの「人」を知り、人間関係を学ぶことを学生の皆さんにはお願いしたいです。それらの経験は、学生に「夢」や「志」を見つたり、考えさせたりすることになります。何事にも情熱を持ち創意工夫をしながらチャレンジを繰り返す学生、協調性を持ちながらも周囲の仲間や同僚を巻き込み目指すべき方向へと導くことができる学生は企業側にとって魅力ある人間性といえます。大分県経済だけではなく、これからの日本経済の発展を支える人間の育成には行政と大学と経済界とが情報交換を行いながら「育成」を考えていく必要があると思います。

佐藤学部長 西村学長は国際経営学部開設の必要性を認め、そのための全体構想から具体的なカリキュラムの詳細までをお考えになられました。新たな人材育成の必要性についてのどのようなお考えによるものであったかをお話し願えますでしょうか。

西村学長 頭取のお話にまったく同感です。いま日本で求められている人材というのは創造力と、国際的に通用する人材、豊かな人間性を備えた人材であると思います。教育そして研究の場においても、自分の仕事に情熱を持って創造的に生きることを喜びと感じる人材が生まれてこない、これからの社会の発展はないように思います。その意味で教育界でも、研究の場においても、多くの人の協力なくしては成果を手にはできないのですから、自分



西村明 学長

だけでなく、一緒に仕事をしている他人を思いやるような人間性、相手の気持ちを理解できるような人材を育てていかなければならないというふうに思っています。このようなことから、やはり広い許容力と他人を思いやる心を基礎に深い専門力を磨き上げることが学生や教職員に求められているように思います。これは非常に難しいことですが、これを別府大学が実現しないと、他の大学との比較においてユニークさが出てこないでしょう。これは難しい課題ですが、それだからチャレンジということが意味を持ってきます。

佐藤学部長 国際経営学部が社会の要請に応える人材育成を効果的に行うためには、企業をはじめとする各種の組織の人材への要請を正確にキャッチすることが重要です。そのような要請を教育の在り方に反映する努力を続け、その成果を社会に還元しなければなりません。そのために、今後、地元の経済界の協力を仰ぐことができると考えております。このような面を含め、大学と経済界、企業の協力の在り方について頭取のお考えを伺えますでしょうか。

小倉頭取 先ほども申し上げましたとおり、私ども大分銀行の発展は大分県経済の発展なしにはありえません。現在の経済情勢は変化が激しく、広域化や国際化のスピードは増えています。このような中で地元大分の企業経営者がどのようなニーズを持っているのか、どのような課

題を抱えているのかを明確に把握し、提案営業力の強化を図ることや各種支援施策を実践し、大分の経済を活性化させることが私ども大分銀行の経営理念である「銀行業務を通じ地域社会の繁栄に貢献する」ということだと考えています。

そのために大分の将来を担う有能な人材の発掘や開発を行う必要があると考えています。好況・不況にかかわらず、経済がうまく循環するためには常に新たな発想と実行力とパワーが必要です。「社会で求められている人材像」の把握とそれを実現するための教育プログラムの実現も必要です。別府大学をはじめ、各教育機関と経済界や各企業が連携をとり情報交換を行い、共に大分ひいては日本全体の未来を考えた教育を行う必要があると考えます。

## 産学連携、社会科学系でも強化を (西村学長)

佐藤学部長 産学の協力について頭取のお考えを伺いました。これについて西村学長のお考えを伺えますでしょうか。

西村学長 産学連携は、工学系などでは非常に具体的でわかりやすいのですが、国際経営の場合にはその具体的な連携は見えにくい。しかしながら、ある意味でもっと強い産学連携があるように思います。研究において見えないものを産業界から教えてもらう、他方、研究領域、つまり大学では理論的に、あるいは歴史的に時間をかけて分析したものを産業界に返す。産業界からは現実に抱えている、具体的な問題を大学に提示してもらい、大学はそれを理論的、実証的に分析し、相互にいいところを結び付けて地域に貢献する、あるいは国際的にも貢献することが重要でしょう。相互に持つ優位な側面を結合させ、地域を発展させていくということはこれからの大きな課題であろうと思います。形態はいろいろありますので、大学自身ももっと深く考えてまた仕組みを作る必要があります。これはまた研究への大きな刺激となるでしょう。

もうひとつには、人材養成の問題があります。これま

でのように大学は自己の方針で教育し、卒業してから就職をお願いしますといってもそれは難しい。1年生の入ってきた段階から、社会や企業のニーズを事前にくみ取って、そしてそれに合うような形で教育していかなければ4年経った時に、修正しようとしてもできないわけで、企業と大学との連携がどうしても必要であります。大学自身が抱えている課題がありますが、社会や企業のニーズをくみ取って人材養成を行わなければなりません。その意味で、産業界からサゼッションを絶えず受けるような形も大きな産学連携ではないかと思えます。そして私たちは自らの教育の姿勢について、産業界に説明し、あるいはそれについてまたご意見を聞くというふうな、絶えず相互にやり取りをしながら緻密な関係を強めることが大切だと考えます。これも産学連携で、ひいては地域に貢献し、国際的にも貢献できるのではないのでしょうか。私は、産学連携というものをもっと社会科学系でも具体的に展開し、この大分から何か新しいモデルが創造できればいいなあと思っています。

## 国際経営学部誕生で地域への効果を期待 (小倉頭取)

佐藤学部長 以上ひとつお話しいただきましたが、小倉頭取が何か付け加えることなどがありましたらご発言願えますか。

小倉頭取 せっかくの機会ですので、雑談ということで聞いていただければと思います。

私ども大分銀行と別府大学さんとの共通点というと、やはり「地方」にあるということです。地方というのは良い意味も悪い意味もありますが、都市と地方の格差が大きくなりつつある中で、私ども大分銀行は大分県を主たる営業基盤にして銀行業をやっています。

そして別府大学さんも、場所が別府という地域にあり、多くの学生が地元の青少年で、就職先もかなりのウエイトが地元になると思います。その意味において「地方で事業を行う。あるいは使命を果たす。」という共通点がやはり大きいと思います。

私ども大分銀行は、大分の企業や個人にお役に立つと



佐藤哲哉 国際経営学部長

いうことに存在価値があり、「我々の使命とどういった整合性が取れるのか」、「大分と関係ないビジネスをして大分の企業にも貢献できるのか」、「本来の使命を忘れていないか」ということを考えな

くはならないと思うのです。

大分の経済発展が大分銀行のプラスになるのと同じように、別府大学さんも、地元の親御さんと青少年が、行きたい大学であることがまず第一であると思います。大学生活は永遠に卒業生の胸に残るわけですから、その地域とどのようにうまく協調、連携しながら事業としても、使命を果たしていくかということが課題だといえます。

今回別府大学さんが国際経営学を入れるというのは、地域の若者にとってはよいことだと思います。近くで学ぶ場ができたことにより、学生が大分・別府を中心に在住するということであり、いろいろな効果も期待できます。例えば研究発表の機会や、あるいは学生としているような文化・体育活動や地域貢献活動などです。そういう活動が地元の人との触れ合いに広がっていくというのは、学生発信のさわやかな情報が地域に広まっていくということであり、歓迎すべきことです。

先ほども述べましたが、大分県は多くの産業集積があってもイメージが良い場所です。「きれいな海があって山があって食べ物おいしい」。そういうイメージはありがたいことです。経済的にみると工業中心の「ものづくり」の県ですが、それは若い方が地元働き、定住できるということなのです。若い方が居れば、家族ができ、人口が増えて、商店街が栄えるわけです。若い力が集まる地方であり、若い力が働く場を地方に不足なく充実させていくということは行政にとっても重要な関心事だと思います。

大分には大手の企業さんが進出されていますので、若い力が働く場は他県に比べると好環境であると思います。

今回の世界同時不況が非常に速くしかも短期間で波が来ましたので、「派遣労働者による人員調整」とかいうイメージがあります。しかし大手の企業が地元と与える恩恵を考えずに議論するのはおかしいと思います。大手の企業は、地元のことを考えて仕入や採用、周りの環境問題までたくさんの努力をしています。

西村学長 非常に大切なご指摘だと思います。別府大学もしっかりと大分別府の中で生きている、地域に支えられて生きており、地域に貢献しなければなりません。別府大学の志願者数も大分の経済と結びついております。今回の不況では、大分では大学への進学か就職かを決めかねている経済層の人が大きく打撃を受けているように思われます。別府大学も非常に弾力的、あるいは柔軟に地域経済に対応するようなシステムを持って運営しないと経営が非常に難しくなってきます。100年続いたから来年もいけるといった形には現在ではなくなってきました。常に教育研究のあり方を改革し、また地域を活性化させると共に、地域に支えられながら発展していかなければならない。そのような意味で、地域の弱さと強さというものをよく研究して、それに対応していかなければ生き残れなくなっています。別府大学は軸足を完全に地域に置きながらも、経済そのものが国際化していますから、教育研究の内容や視点をグローバル化させていかなければならない。国際経営学部はそのような課題を最も強く持っております。地方に軸足を置いているが、研究教育はやはり国際的であるということには非常に難しいことですが、その中に別府大学が生き残れるユニークさが生まれてくるのであり、そういう形で、地方にありながら東京とか関西ではできない、世界の人々を引きつける魅力を構築しなければなりません。

佐藤学部長 小倉頭取、西村学長、本日はご多忙のなか、誠にありがとうございました。大分の経済的な成り立ち、現在激動している経済環境全般、また人材育成において大学が果たすべき役割などにつき貴重なご教示、ご示唆を数多く賜りました。これらを生かしつつ、地域貢献につながる教育を行うために努力を続けていく所存です。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

# どのような学びの場に

国際経営学部長 佐藤 哲哉



国際経営学部が本年4月にその歩みを始め、学内外の方々のご協力のもとに無事前期を終えました。今、学生諸君の表情からは学習の目標、将来進む方向、先生や友人とのつながりなど「自分が目指すものを確実に見つけ

つつある」という印象を受けます。今後、国際経営、会計・税理士、観光経営の3つのコースから自分に適した進路を選びながら、副コース制の利点を生かして幅広い学力を身につけていくことでしょう。

この学部の教育の特徴について考えてみたいと思います。

## グローバル化への対応

専門科目として学ぶ国際金融、銀行、貿易、国際観光、国際食物流通、医療経営、情報産業などの産業分野の世界的な結びつきについてリアルタイムな知識を得ることは国際経営学部の学生として必須です。そのため法規や会計を含む世界基準、多国籍企業、企業の合併・買収、資本移動、国際経営戦略、国際マーケティング、経営効率を左右する情報通信技術などいろいろな視点からの教育を行います。卒業後に進む分野にかかわらず、自分の仕事そのものについて身近な問題に振り回されることなく、海外を含めた経済・社会環境の動きと関連づけて考え、行動する人材を育てます。

## 異文化理解

グローバル化のなかで活動していく主体である「人間」の認識の問題です。学部では関連する専門科目（国際コミュニケーション、国際関係論、カルチャーマネジメントなど）を多く配するとともに、外国語の習得のためには今年度冬季の海外語学研修プログラムを用意し、将来の専門科目履修のための短期留学の道も開きました。専門科目を英語（国際経営、国際マーケティング、国際会計、国際観光経営）、中国語、韓国語で学ぶ科目もあります。

## 資格取得支援

各種の資格取得のため必要な科目が用意されています。高等学校との協定による高大連携により税理士資格取得を強力に支援する仕組みを推進しており、すでに明豊高校とはそのための協定を結びました。

## 自ら行動する人材

モチベーションの高さは極めて重要です。学生の意欲を高めるのはひとつの方式を持って達成できることではありません。習得する知識の社会的意義の十分な理解、相互啓発的な人間関係、成長の各段階での達成感など多くの要素があります。学生との日々の係わりを通じて彼らの自発性を確実に喚起するような教育を目指します。



# 教員も学生も張り切ってます！

日商簿記検定3級合格率80%！  
～国際経営学部での簿記授業～



国際経営学部では、簿記は経営に関する基礎知識でもあることから1年生全員に受講を勧めています。その際、高校時代の経験者、簿記は初めてだが、会計を専門的に勉強したい、簿記は初めてだが、日商3級の資格はとりたい、の3クラスで授業を行っています。この内、クラスでは週1回の講義に加え、週2回の特別講座を実施し、6月の日商3級試験では5名中4名が合格（残り1名も合格直前レベルまで到達）し、合格率80%という結果になりました。このクラスでは11月に実施される日商2級合格を目指し、夏休み終盤に1週間、後期も授業外に週2回の特別講座を実施します。クラスでは夏休み初旬に特別講座を実施するとともに、夏休み中、学生が24時間どこでも学習できるよう教員が独自に作成した教材によるe-learning講座を開設し、11月の3級合格を目指します。クラスでは1年間じっくり勉強し、来年2月の3級合格を目指します。また、国際経営学部新設に伴い、別府商工会議所に本学を日商簿記検定試験会場として承認いただき、学生や地域の方々の受験に関する利便性の向上に努めています。

（地域総合科学科・国際経営学科担当 関谷 忠）

現場から学ぶ地域経済！  
～卸売市場を訪ねて～



今年6月、導入演習の一環として、亀川にある公設地方卸売市場を訪れました。近年、食料流通の広域化・国際化に伴い、「食と農の距離の拡大」が問題視されつつあります。食の安全や消費者の信頼を損ねる事件が国内で多発しています。そのような状況の中、農産物直売所が販売額を伸ばしたり、産直の動きが活発化しています。農産物取引において卸売市場を介さない流通、いわゆる市場外流通が進展しているのです。

今回の市場訪問は、社会的に逆風に直面しているともいえる卸売市場の存在意義について、また市場が果たしている役割や機能について、現場から学ぶ目的で実施しました。当市場では、青果物の競りは午前7時から始まります。早朝からの競りの熱気に圧倒されそうになりながらも、その光景をしっかりと目に焼き付けておこうとする学生。「なぜ、こんなに安い価格で取引されるのか」と、教育上こちらが嬉しくなるような疑問を抱く学生。

国際経営学科では、「現場を重視した教育」にも配慮していききたいと思います。

（国際経営学科 中川 隆）

# 文学部60年の歩み(1)

文学部長 友永 植



昨年(2008年)学校法人別府大学は創設100周年を迎えましたが、来年(2010年)は別府大学が開設60周年を迎えます。本学は1950年に「別府女子大学」として開設され、1954年に男女共学の「別府大学」

に改組されました。本学開設時に設けられたのは文学部のみで、この体制が2002年の食物栄養学部(現食物栄養科学部)の開設まで続きました。その意味で、文学部は本学そのものとして60年の大半を歩んできたといえます。

文学部開設時の学科は国文科と英文科で、初年度の入学者は国文科12名、英文科8名の総計20名に過ぎなかったそうですが、その後、史学科(1963年開設)・美学美術史学科(後の芸術文化学科/1973年開設)・文化財学科(1997年開設)・人間関係学科(2000年開設)が次々に開設され、定員も510名を擁すまでに至りました。この間の本学、とりもなおさず文学部の発展は、建学の精神「真理は我らを自由にする」の高邁な理想に基づくものであるとともに、現実社会のニーズに的確に対応した歩みでもあったといえます。文学部は崇高な精神と時代への鋭い感性を兼ね備えた学部として、大分の地

にしっかりと根を張って今日に及んでいます。この60年の間、創設者の佐藤義詮先生、前理事長・学長の西村駿一先生を始めとする幾多の優れた教育者の下で、多くの有為な人材が本学を巣立ち、西日本を中心に地域社会において指導的立場で活躍していることはまことに喜ばしいことです。

近年、大学を取り巻く環境が大きく変化してきています。文部科学省のいう「知的基盤社会」の到来と18歳人口の減少いわゆる「少子化」等に象徴される社会的変化は、大学の使命や機能に少なからざる影響を与えています。本学もこの様な時流の変化に敏感に反応し、2002年の食物栄養学部開設について、本年度(2009年度)国際経営学部を開設するとともに、文学部を改組しました。この結果文学部は従来の6学科から、国際言語・文化学科、史学・文化財学科、人間関係学科の3学科に統合・再編されました。文学部は60周年を目前に、創立以来の大改革に踏み切ったわけです。この改革は単なる学科構成の改編を意味するのではなく、文学部教育の在り方に再考を迫るものであるといつてよいでしょう。創立60周年を期に、これまでの伝統を受け継ぎながら、新生文学部が今後何を目指せばいいのか、次号に展望を示してみたいと思います。

# 発酵食品学科が目指すもの

食物栄養科学部長 森口 充瞭



人類は微生物の存在を知らない太古の昔から経験的に微生物の作用を利用してきた。弥生時代からすでに米を原料とした酒の醸造がなされていたと推定さ

れ、醸造がバイオテクノロジーの源流とされるのである。

微生物の利用は世界各国で、まず醸造や食品の加工保存技術として始まった。日本で微生物学や醸造学が始まったのは、明治時代の中期からであろう。その後、昆布、椎茸やかつお節の旨味成分が見出され、醸造工業、アミノ酸及び核酸発酵工業が発展し、「発酵学」、「応用微生物学」、「微生物利用学」の学問分野が確立された。

微生物を使って食品を加工する「醸造発酵技術」は、非常に巧妙な加工法である。穀類、乳、魚肉、野菜などを微生物の種々の機能を利用して新しい機能を持つ発酵食品に変換される。「酒は百薬の長」(清酒の機能性)と言われるように「酔い」は、すなわち食品の二次機能の向上である。納豆は、大豆を納豆菌で発酵させることにより大豆蛋白の消化性が向上し、より美味しく食べられ

る。醸造技術は食品の保存性を高めるばかりでなく、食品の一次機能と二次機能を向上させる素晴らしい技術である。最近、健康で長生できる食品への関心が高まり、食品の三次機能を求めて「特定保健用食品」が開発されている。数千年の歴史を持つ発酵食品は機能性食品の宝庫と思われる。

発酵や食品は本来、農学部農芸化学科で教育研究が行われてきた専門分野である。発酵食品学科(発酵・醸造研究分野、食品生化学研究分野および環境微生物研究分野で構成される)が食物栄養科学部に設置されたことは、農芸化学教育研究分野と食物栄養教育研究分野の融合により新しい学問領域の教育研究分野の発展が期待される。新しい学問領域の教育研究分野の構築を目指しながら、21世紀の「食」と「健康」に貢献できる技術者を養成したい。そのためには専門性の力となる「学士力」を身につけるべく低学年から実体験型の学外授業や実験、さらに学生個人が自身の将来を自らの力で決定できるようにするための企業実習(インターンシップ)などを有機的に組み合わせて社会に貢献できる人材を育てたい。

# 短大だより

## 「夏の宵祭り」で交流 - 地域総合科学科

「日本を知りたい、学びたい」と思っている留学生にとって、地域交流の授業はとても楽しみな授業である。そんな授業の一つとして、毎年7月末に行われる別府市の「夏の宵祭り」の踊りの輪に留学生が参加した。

今年は5回連続出場ということで、表彰をいただいた。初めて参加した時は、衣装も揃わず、きれいな浴衣を身にまとった他大学の学生がうらやましかったものだが、今では、多くの留学生が自前の浴衣を用意するようになった。また踊りの腕前もずいぶん上達した。

今日本では、地域のイベントが盛んになってきているにも関わらず、それを支える若者の数は減る一方である。別府キャンパスの近隣地区で行われている「鬼の岩屋古墳祭り」では、日本人大学生にまじって、留学生たちもお手伝いをしているが、「地元の日本人はどこにいるのですか」と不思議そうな顔をしている。そういう状況だけに、なおさら地域の人たちに喜ばれていることが実感できて、留学生もうれしそうである。今後も、「地域と一体となった別府大学」の一端を担い続けていきたいものである。

(地域総合科学科 梶原 博)



## 観光大分を支える人材育成

### - 「旅行業務取扱管理者」受験指導特別講座 -

大分県は、日本でも有数の観光県である。短期大学部大分キャンパスでは、観光に関する最も権威のある国家資格である「旅行業務取扱管理者」の受験対策講座が、暑い夏休みの間、今年も開催された。

「旅行業務取扱管理者」という資格は、旅行業事務所を開くための必須科目であり、その試験範囲は、旅行プランの策定からお客へのプレゼンテーション、そして苦情処理などのアフターケアまで、文字通り、旅行業務全般に及ぶ。毎年1万人以上受験して合格率は4分の1以下という難関資格なのだが、講師の指導のもと、毎年複数名の合格者を出している。

担当者は、実際のツアーコンダクターだった経験を生かした授業に定評があり、学科のコース・系列の中で、観光系列は最も人気のある系列である。また、豊富な人脈を生かした就職指導も好評で、大学卒の競争者にまじって、JTBなどの大手旅行社を含めて毎年二桁の学生を地元観光業へ送り込んでいる。

今回の特別講座や、年間10回以上行われている地域観光実習などの授業をできるだけ地域に開放して、地域の観光業の活性化につなげたいというのが担当者の今後の抱負である。

(地域総合科学科 下山邦男)



# 学園だより

## 祝 明豊高等学校野球部 甲子園ベスト8

明豊高等学校野球部が5年ぶり3回目の夏の甲子園出場を果たすことができました。春のセンバツ大会に続く出場という快挙を成し遂げました。

8月8日の開会式で本校は、出場49校中46番目の入場となりました。甲子園球場内で本校が紹介されると大きな拍手で迎えられ、選手たちの行進も堂々たるものでした。

### 第91回全国高等学校野球選手権大会 試合結果

- \* 8月8日(1回戦) 明豊4 3興南(沖縄)  
...9回サヨナラ勝ち
- \* 8月16日(2回戦) 明豊4 0西条(愛媛)  
...強豪校に完封勝利
- \* 8月20日(3回戦) 明豊8 6常葉橘(静岡)  
...4点差を逆転勝利
- \* 8月21日(準々決勝) 明豊6 7花巻東(岩手)  
...延長戦の末、惜敗

選手たちは甲子園球場で4試合戦えた充実感と未完に終わった全国制覇への思いを胸に、ベスト8というお土産を持って別府へ帰着しました。

また、1塁側アルプス席では在校生、卒業生、後援会、保護者、教職員等の大応援団が青一色に染まり、熱烈な応援が繰り広げられていました。

今後の明豊高等学校野球部の更なる活躍が期待されます。

なお、9月27日からの新潟国体において、本校野球部が高校野球硬式の部に出場することが決定しています。また、内野手兼投手の今宮健太選手が9月5日からアメリカカリフォルニア州で開催される「日米親善高校野球大会」のメンバーの推薦を受け、日本チームの一員として派遣されることになっています。

(明豊中学・高等学校 椎原 淳)



## 九州石油ドームで清掃ボランティア

平成21年5月9日に九州石油ドームにて、春季歓迎遠足が行われました。

朝10時過ぎに九州石油ドームに到着し、座席確認の後、学年ごとに分かれてドーム内の座席の雑巾がけ清掃ボランティア活動を行いました。清掃区域を分担し、持参した雑巾が真っ黒になるぐらい熱心に、かつお互い協力して取り組み、全生徒が達成感を味わうことができました。

その後、昼食ならびに自由時間内ではスクリーンにおけるクイズやイベントに参加したり、フィールド内の催し物を見て楽しんだりして過ごすことができました。また、その時には自作の学校紹介の映像がスクリーンに流れ、来場者の皆さんにも好評を得ました。

試合は大分トリニータ対横浜F.マリノス戦で、結果はトリニータが惜敗し、連敗阻止に貢献することができませんでした。しかし、ハーフタイムにはジェット風船を全員で飛ばし、マフラータオルや応援旗を持って応援する生徒もあり、Jリーグ公式戦のパワー溢れるプレーに絶大な応援を繰り広げていました。学校創立以来、初めての全校バス遠足を十分満喫する1日を過ごすことができました。

(明豊中学・高等学校 椎原 淳)



# 学園だより

## 明星小学校新校舎竣工

学校法人別府大学創立100周年事業の一環として、明星小学校の校舎が新築されることになりました。

明星学園から学校法人別府大学に移管されてから10年、「誠実な心・たゆまぬ努力」を校訓に掲げ、広く国際社会に生きる人間として、一人ひとりの個性を生かした豊かな人間性とすぐれた知性を身に付け、たくましい行動力を備えた心身ともに、健康な児童を育成することを教育目標とし、輝く子どもたちが育っています。その間生徒数が増加し、教室数の不足、新しい教育への対応、安全・安心への配慮等から新校舎の建築がはじまりました。去る2月28日に起工式、以後順調に工事は進み、8月24日に竣工しました。2学期から耐震構造、セキュリティシステムの完備された新校舎で、子どもたちの希望にあふれた授業が始りました。

(明星小学校 高橋敦文)



## ようこそ先輩

この4月、全日制は40回生の1年生を迎えました。1年生は授業に明け暮れています。2年生は6月より12月下旬まで、県内の医療施設等において、残る6領域の臨地実習を展開中です。

通信制は6期生の1年生を迎えました。1年生は課題レポートの添削指導を受けて、基礎看護学実習へ、2年日以降の5期生等は残る6領域の実習へ各々臨むところです。

このような中で全日制は夏期休暇を前に、今年度も同窓会の協力のもとに、卒業生3名を招いて、懇談会を実施しました。当会の目的は 専門職業人としての役割を知り、看護観を深める 国試対策、進路選択、学校生活等を今後活かす 同窓会との連携と相互の発展など3点です。「講話」と「質疑」で構成し、全学生が傾聴し、有意義に過ごしました。

卒業生は、県内の医療施設で看護師として、看護係長として、そこになくてはならない存在となり、生き生きとしたお話は説得力に富み、まばゆいばかりの成長を感じた、とても嬉しいひと時でもありました。

(附属看護専門学校 甲斐泰子)



## 高校・養護学校家庭科教員学術交流会

本交流会は、県内の高等学校・養護学校家庭科担当の先生方と食物栄養学科教職員とが研究や学術情報の交換を通して連携・交流を図ることを目的に、平成14年より毎年1回開催しています。8回目となる今回は、フランス料理「M.Miura」シェフ 三浦政智氏の指導による調理実習と本学発酵食品学科高松伸枝准教授による講演が行われました。

南仏を中心にフランスで修業した三浦シェフの調理技術と大分県の夏の食材を上手に使ったレシピは、アイデアも味も最高でした。

講演では、厚生労働科学研究班「食物アレルギーの栄養指導の手引き2008」の検討委員会メンバーである高松准教授より食物アレルギーについて解説がなされ、「最新の情報が聞けて良かった」などのご意見を頂きました。多くの高校の諸先生方、短大部及び入試広報担当の先生方、学部・学科教員、学生たちがそれぞれに良い交流を図ることができました。関係の皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。

(食物栄養学科 森脇千夏)



## 学業成績優秀者を対象とする奨学生制度を開設

別府大学と別府大学短期大学部は、本年度、学業成績優秀者を対象とする奨学生制度を新たに開設し、来年度(平成22年度)より実施することいたしました。本学はこれまで日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学制度とは別個に、独自の奨学制度を設け運用してきましたが、近年、特に昨年末以来の経済不況の影響で、経済的理由により大学への進学を躊躇する高校生が多くなってきましたので、このような高校生に就学の機会をできるだけ多く提供すべく、従来の制度の拡充を行いました。新設の奨学制度の概要は下記の通りです。提出書類など詳しい内容(募集要領)は、本学のホームページ(<http://www.beppu-u.ac.jp/>)に掲載していますのでご参考下さい。お問い合わせは、別府大学入試広報部(電話0977-66-9666)までお願いいたします。

1. 出願資格  
本学への入学について明確な意志を持つ者のうち、学業が優秀であるが経済的な理由で修学が困難な者。
2. 奨学生の特典は入学金の全額免除、授業料の全額免除・半額免除
3. 募集人数は若干名
4. 出願の手續(出願期間等)  
別府大学(本学の入試を受験する者のみ出願ができます)  
1期: 指定校推薦、推薦1期の受験者を対象とし、各合格発表の後1週間以内に出願すること。  
2期: A日程、B日程、センター試験利用1期の受験者を対象とし、各入試出願時に申請すること。  
別府大学短期大学部(本学の入試を受験するか否かに関わらず出願ができます)  
1期: 10月1日(木)~10月7日(水)に出願すること。  
2期: 1月12日(火)~1月25日(月)に出願すること。
5. 選考試験  
別府大学  
1期の指定校推薦合格者のみ国語(現代文のみ)の試験(10月31日)を課す。  
別府大学短期大学部  
1期は10月10日、2期は2月1日に国語(現代文のみ)の試験を実施する。

# 研究室探訪

## マンガで培う総合創作力

田代しんたろう研究室（国際言語・文化学科）

現役のマンガ家だった時はあまり他人のマンガを読ま  
せませんでした。今は幅広く読むよう努力しています。  
特に現在活躍するマンガ家の初期短編は力を入れて収集、  
4年生の「マンガ演習」は、卒業制作を視野に入れ、  
こうした作品の読書会の形で授業を進めます。研究室の  
《宝物》は、「鳥獣人物戯画・甲巻」の実物大レプリカ（約  
12メートル）と「北斎漫画」和綴じ復刻本。これらは「マ  
ンガ概論」の授業内で実際手にとってご覧いただきます。  
演習科目の教材づくりは一番苦心します。マンガ創作に  
は多様な能力が要求されます。ストーリーやギャグを考  
える発想力、ネーム（台詞）を展開する演技力、エピソード  
を紡ぐ構成力、多数のコマをレイアウトする演出力……。  
課題例としては、登場人物を縦軸、時間を横軸にとった  
ストーリーの「時系列表」作成や、物語の舞台の地図表  
現。これらは、いわば《情報整理術》です。また絵とは  
離れ、文章を読み、その内容を図解する課題も用意しま  
す。マンガ制作で総合的なクリエイティブ能力を高め、  
社会で役割を果たせる人材が別府大学から巣立つ。そんな  
夢を描きながら、教材づくりに励んでいます。



## 福祉の原点を心に刻む

杉野寿子研究室（地域総合科学科）

「1歳の誕生日を迎えられない子どもがいます。」杉野  
研究室のドアを開けると、こんなメッセージのある大き  
なポスターがまず目に入る。ほかにも研究室の壁には様々  
なメッセージがいっぱいだ。杉野先生はこれまで国内外  
であらゆる境遇の人々に会ってきた。今でもふと、ヨ  
ルダンで一緒に仕事をしていた障害者の女性、アフリカ  
の大地で裸同然の姿で必死になってわが子に乳を与える  
母親、彼らとの出会いが、福祉に対する彼女の気持ちと  
結び付いている。

「社会福祉とは、介護の問題が大きく取り上げられる  
ことが多いですが、それだけではないですね。国籍や性  
別などにかかわらず、どんな人でも安心して自分らしい  
人生を送れる社会をめざすものだと思うんです。そして、  
福祉に携わる人は、いろいろな困難を抱える人に心から  
向き合い、寄り添い、その人のもつ本来の力を見つけ発  
揮していくことを支援していくものなのです」杉野先生  
は、福祉（ソーシャルワーク）の仕事のこのように話す。  
これまで見てきた福祉の原点を心に刻みながら、すべて  
を失ったパワーレスの人々にどう寄り添い、どう未来を  
共に考えていくか...そんな福祉のこころを伝えていくこ  
とが杉野先生の願いである。





# 2008年度の進路状況

## 進路情報センター

日本経済は、昨年10月のアメリカに発生した世界的な不況により、本学の学生が就職を希望する九州の地方都市にもその影響は強く感じられた。

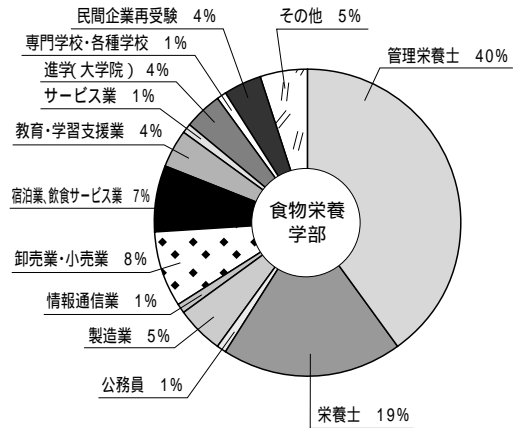
しかし学生の就職活動の早期化により例年とあまり変化のない就職状況であった。なお、本学の就職状況は、平成20年度、大学・文学部86%、食物栄養学部96%、短大94%であった。

大学では、大学院への進学者が本学の大学院への進学とともに増加の傾向にある。また、公務員、教員をはじめいろんな職種に就職している。

短期大学部では、それぞれの学科の特色に応じて、自分の専門の資格を生かした職場への就職が多く、依然として地元就職が中心である。また4年制大学への3年編入者、本学の初教・福祉専攻科の進学者も多い。

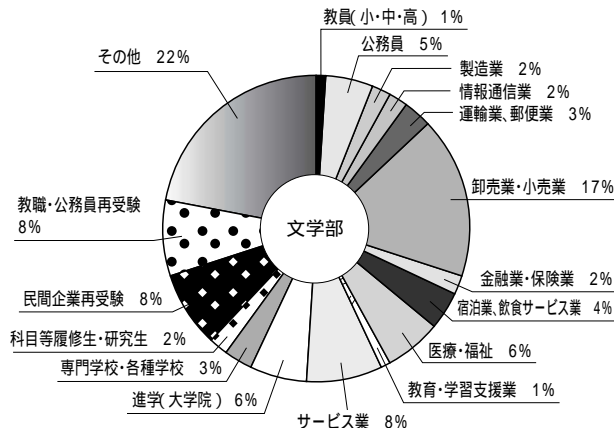
今後は、全国的な動向に見られるように学生の就職に対する意識改革をより一層強めるとともに、キャリア教育の充実に取り組んでいきます。

別府大学 食物栄養科学部

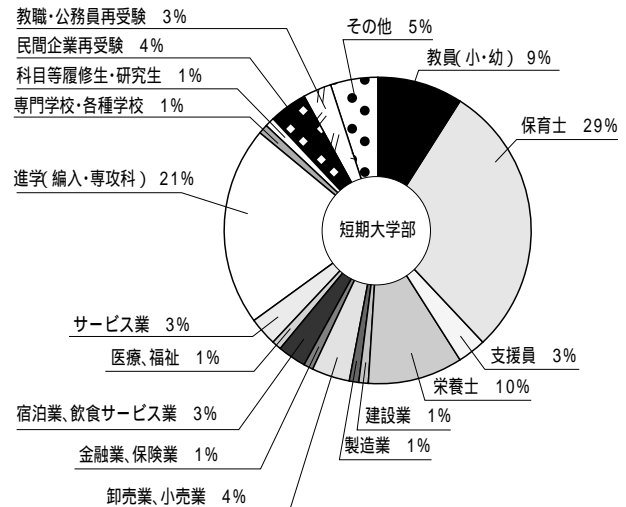


別府大学・別府大学短期大学部  
2009年3月卒業生進路状況

別府大学 文学部



別府大学短期大学部



# 輝け！新入生

## 有意義な大学生活を



私は、幼い頃から歴史に興味がありました。そして、だんだん勉強するにつれて歴史をもっと学びたいと思うようになり、また高校の時に教師になると決意しました。

大学は、中学・高校とは違ってやらされる勉強ではなく、自ら時間割を作って自分でする勉強なので自分の意志をしっかり持つ必要があります。一人暮らしもしてるので、生活リズムを整えて大学生活を有意義なものにしていきたいと思っています。

(史学・文化財学科 横濱志津香)

## 自発的に知識向上を



私は経済、経営について深く広く知るためにこの学部で勉強していけたら良いと今は漠然と思っています。

しかし具体的に知識はもちろん、実践経験もつけたいと考えています。自分はまだ慣れていないので、与えられた勉強や興味を持ったことを勉強していくことでいっぱいです。しかし私は、学部の勉強はベースと考え、自発的にさらなる知識の向上及び目標である公認会計士を目指し日々勉学に励みます。

(国際経営学科 甲斐 大啓)

## 韓日同時通訳家で国際貢献を



今年の4月、私は別府大学の新生(3年次編入生)の一人として日本に来ました。韓国で2年間日本語を学びましたが一つの外国語を完璧に話すことはなかなか難しいです。日本に来た当初は日本語で自分の考えを表現することがまったく

できませんでした。やはり日本語は難しいと実感しています。日本語を習得するには日本に滞在して、実際に日本人の身近で生活している言葉を学ぶのが一番大切なことだと思います。現在、私は一生懸命日本語を勉強しています。一步一步きちんと日本語の実力を高めて、将来、韓日言語同時通訳家になりたいと考えています。そして一人の通訳家として韓日両国の間で少しでも役立てればうれしいです。

(国文学科 <sup>キム</sup>金 <sup>オクヒ</sup>玉姫)

## 目標達成に向かって



私は看護の専門的な知識、技術を学び、より深め、必ず看護師になるんだという決意で本校に入学しました。学習の内容、量はこれまでとは比較にならず、日々の予習、復習が不可欠です。級友は、それぞれに背景が異なりますが、互いに協力して一丸となり授業、演習、試験など精一杯取り組んでいます。2年後の看護師国家試験に全員合格することを夢みて。

(附属看護専門学校 岡部 美香)

# サークル紹介

## 新たな歴史創りを目ざして スポーツ振興会

スポーツ振興会(学生団体)は昨年度、発足30周年記念イベントを無事終えることができ、新たに31年目を迎えることができた。

『真理はわれらを自由にする』この建学の精神のもと、スポーツ振興会は更なる発展を遂げており、本年度は国民体育大会・全国障害者スポーツ大会へのボランティア参加、交通安全活動において交通安全協会賞の受賞、地域行事等の積極的参加といったようにスポーツ面以外のあらゆる面において数々の評価を頂いている。もちろん本来のスポーツ面に関してもスポーツ振興会に所属している体育系26サークルの各々が自らのサークルの運営方法・練習メニューを考え、よりよい結果を残すために学生たちは日々仲間と協力しながら練習に励み、他大学に負けない成果を残している。

30周年という区切りを終え、本年度からまた新たなスポーツ振興会の歴史を創っていくと共に、スポーツ振興会に所属する学生が有意義な学生生活を送れるよう今後も日々精進していく所存である。

(別府大学スポーツ振興会:体育系サークル26サークルをとりまとめた学生自治団体)

(スポーツ振興会 第31代会長 工藤 寛之)



## 将来活かせる活動を 文化会

文化会は文化系のサークルの集まりである。それぞれが文化的目標・目的にそって活動を行っている。文化系サークル20団体から構成されており、各サークルは毎週楽しく活動している。

文化会全体で見れば5月にさつき祭、11月に石垣祭(学園祭)への参加などがあり、実行委員は文化会構成員から選出して、企画運営を行っている。さつき祭は各サークルが紹介CM、ステージ企画、展示を行い、各サークルの活動がはっきりとわかる場所である。

また文化会は全体として積極的に別府市を中心としたボランティア活動に力を入れている。昨年は大分国体・全国障害者スポーツ大会にボランティアとして参加した。ボランティアへの参加は、地域との交流が深まり構成員の社会勉強にもなる。障害者スポーツ大会を経験し、考えが変わった構成員も多いだろう。温泉祭や夏の花火大会、クリスマスファンタジアへの参加も私はいい勉強だと考えている。

こういったサークル、ボランティア活動が社会人になった時に活かす事ができるはずだと信じている。これからもっと充実した活動を各サークルに期待したい。

(文化会 第29代会長 石本 直也)



# 学園アラカルト

## 「わっしょい!子ども夏祭り in わさだ」 - 保育科

8月2日(日)、植田公民館主催の夏祭り、保育科の1年生がボランティア活動に取り組みました。未就学児の親子を対象に、さまざまな遊び体験をしながら地域交流を深める目的で開かれている企画です。若者のアイデアを取り入れて、さらに盛り上げたいという主催者の願いもあり、保育科代表の学生が数名実行委員会に入り、他の子育て支援者や小・中・高の子ども支援者と共に、祭りの企画運営に積極的に携わりました。

授業の一環として、手作りペンダント500個作製、歌やエプロンシアターの練習等、子ども達の喜ぶ顔を思い描きながら全員で準備に取り組みました。当日はバルーンアート、迷路探検など11の遊びコーナーに学生リーダーとしてはりつき、11時から14時まで、400組近くの親子のお世話をしました。片付け、反省会が終了したのが17時。主催者の方々から学生の活躍ぶりが高く評価され、どの学生も責任を果たした充実感にあふれていました。

未就学児の親子とのかかわりや地域のボランティアの方々とのふれあいの中で学んだこと、課題として残ったことなどを各自が整理して、これからの学生生活に反映していくように期待しています。

(保育科 江良 愛子)



## ゴミ拾いもスポーツ - 附属看護専門学校

4月16日、新入生歓迎研修で「ゴミ拾いはスポーツだ」をテーマにスポーツGOMI拾い大会が行われました。チーム対抗でゴミを拾い、「ルールを尊重する、審判を尊重する、相手を尊重する」という3つのルールに従ってゴミを拾う活動。ゴミ拾い=スポーツという考え方を初めて知りました。九州では初めての活動で、私は審判として参加しました。

チームで協力し、楽しくゴミを拾って、先輩方や仲間との交流を通して街もきれいになり、一石二鳥にもなる体験でした。

審判として感じたことは、色々なゴミが捨ててあり、分別の判断に困ったこと。車のバッテリーやタイヤ、可燃・不燃関係なく1つの袋に一緒だったり、驚きました。最終的に集まったゴミの量は約300kgと相当なものでした。目の前にゴミが落ちているのに拾えないというルール上の審判の寂しさも感じました。

今回の活動を通して、環境問題がすぐ身近にあることを感じ、落ちているゴミに自然と視線がいくようになりました。そして、ゴミを出来るだけ出さない、エコバッグ、マイ箸の持参など、早速私自身にできるエコを始めています。

(附属看護専門学校 40回卒業生 甲斐あゆみ)



# 私が薦める本

「郵便配達夫シュヴァルの理想宮」  
岡谷公二著（河出書房新社）

フランスに不思議な形の巨大な宮殿をつくった人物がいる。19世紀末に33年もかけて石を拾って見たこともない「理想宮」を、たったひとりで造営した郵便配達夫シュヴァルである。当時はその行動からかれは狂人扱いをされた。しかし不思議なことに、この平凡な奇人シュヴァルは我々に、誰でも夢を必ずかなえることができる、と思わせる。なぜならばたわいもないことへの積み重ねによって夢を実現しているからである。シュヴァルの存在はシュルレアリスムに影響を与えたため、その文脈で語ることが一般的だが、生き方を探る際にこそ参考にしたい人物である。著者の仏文学者で美術史家の岡谷公二はシュヴァルの魅力を自然体で伝えている。異形の理想宮それ自体も興味深い。凡人パワーを知るために是非一読をお勧めしたい。

（国際言語・文化学科 安松みゆき）

「勝海舟の嫁クララの明治日記（上下巻）」  
クララ ホイットニー著（中公文庫）

明治8年、14歳でアメリカから来日した少女、クララホイットニーが記した十数年にわたる日記。開国間もない日本と外国との接触の最前線にいたクララの描写には、勝海舟、福沢諭吉ほか私たちがよく名前を知る日本人、外国人が数多く登場し、彼らの一面をのぞき見るのも楽しい。だが何より、クララが日本と日本人を少しずつ理解し、その文化を受容してゆく「異文化理解」の過程と、彼女自身の人間的成長が、読んでいて心温まる。

（発酵食品学科 三重野佳子）

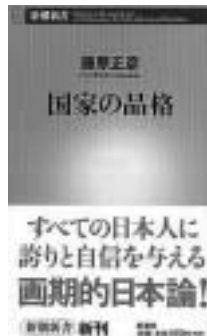


「国家の品格」

藤原 正彦著（新潮新書）

類似本が今でも続く数年前のベストセラーである。内容は「いま日本に必要なのは、論理よりも情緒、英語よりも国語、民主主義よりも武士道精神」というありふれたもの。しかし、この本をめぐる議論がおもしろい。批判者は、結論に至る諸前提（市場経済や武士道）に対する筆者の理解の誤りを批判する。「誤った前提から正しい結論は出ないでしょう。これに対して「でも、感動しました。どうしてそれじゃダメなんですか」という反批判。なお、書中で使われている経済学説の理解はおおむね「誤って」いる。（詳しくは、池田信夫のブログを参照）

（地域総合科学科 梶原 博）



「日本人の知らない日本語」

蛇蔵&海野尻子著 メディアファクトリー

様々な国から来た留学生たちと日本語学校の教師の間で織りなす数々のエピソードの爆笑コミックエッセイ「日本人の知らない日本語」（蛇蔵&海野尻子著）がおすすめです。私は、同じ日本語学習者として、登場する留学生の日本語に対する勘違いや珍質問に共感すると同時に、日々外国人留学生に接している教師として、その留学生の真剣で素朴な疑問に四苦八苦する日本語教師の気持ちもよく分かります。日本人が何気なく使っている日本語を外国人の感覚から見て、改めて日本語の複雑さや奥深さ、美しさを認識し、勉強させられる漫画本です。

（地域総合科学科 J.N.Nootbaar）



# 新任者紹介

- 1 所属
- 2 専門分野
- 3 出身校  
(学部学科・大学院は研究科専攻・課程)
- 4 趣味
- 5 愛読書「この一冊」
- 6 別府大学の印象・学生に一言

吉岡 泰夫(よしおか やすお)



- 1 文学部国際言語・文化学科
- 2 社会言語学・日本語学
- 3 大阪大学大学院文学研究科で博士(文学)の学位取得
- 4 クルージング、ダイビング
- 5 国立国語研究所「病院の言葉」委員会編著  
『病院の言葉を分かりやすく - 工夫の提案 - 』(勤草書房)  
私の最新の著書です。
- 6 自分の夢の実現に向かって、まず、ロールモデル(手本)にしたい人を見つけてください。

高木 伸幸(たかぎ のぶゆき)



- 1 文学部国際言語・文化学科
- 2 日本近代文学および国語科教育法
- 3 広島大学大学院文学研究科 国語学国文学専攻博士課程後期
- 4 読書、登山、温泉巡り
- 5 梅崎春生『ボロ家の春秋』  
ユーモアと鋭い社会諷刺性を兼ね備えた奥行きのある一冊です。
- 6 豊かな自然と文化に恵まれた別府大学で、ともに学び、豊かな人生を

創造して行きましょう。

渡辺 文雄(わたなべ ふみお)



- 1 文学部史学・文化財学科
- 2 日本美術史・仏教美術史
- 3 岡山大学大学院文学研究科・美学美術史専攻・修士課程
- 4 水彩画
- 5 辻邦生『嵯峨野明月記』  
桃山期という激動の時代に生きた3人の文化人、本阿弥光悦・俵屋宗達・角倉素庵が、それぞれ抗うことのできない宿命を背負いながら、絢爛豪華な「嵯峨本」の制作へと凝縮・昇華していく過程を、各人物の独白形式で構成するという読みごたえのある一書。
- 6 閑静な住宅街にあり、学内にも落ち着いた雰囲気があります。  
好きな言葉「人間いたるところ青山あり」

上野 淳也(うえの じゅんや)



- 1 文学部史学・文化財学科
- 2 歴史考古学
- 3 別府大学大学院文学研究科歴史学専攻博士課程後期
- 4 遺跡と陶磁器巡りの旅、読書
- 5 村上春樹「ねじまき鳥のクロニクル」  
映画化をこぼむような、構成、文学作品でのみ可能な世界を堪能できます。「クロニクル」とは、「年代記」という意味。「編年体」的であり、考古学的でもあります。
- 6 大学生活という時間は、高校までとは異なった自分なりの「価値観」を身に付ける大切な時間です。  
できるだけ早く、みなさんが一生大事にできる「コト」、「モノ」そして「ヒ

ト」に出会えることを願っています。

東 真千子(ひがし まちこ)



- 1 文学部人間関係学科
- 2 後期近代英語、現代英米語法
- 3 九州大学大学院比較社会文化学府国際社会文化専攻博士課程
- 4 映画鑑賞
- 5 『BROOCH』絵:渡邊良重/文:内田也哉子  
絵とことばがキラキラしているとても素敵な絵本です。
- 6 日々感謝する気持ちを忘れず目の前のことに全力を尽くしましょう。そうすると必ずと結果がついてくると思います。

木村 靖浩(きむら やすひろ)



- 1 食物栄養科学部食物栄養学科
- 2 栄養生理学、消化管生理学、食品機能学
- 3 徳島大学大学院博士課程前期 栄養生理学専攻
- 4 スポーツ観戦、野鳥観察
- 5 司馬遼太郎の歴史小説をよく読みます。
- 6 山、海、温泉、別府大学は最高のロケーション！大学時代は大変貴重です。よく学びよく遊んで下さい。

奥 和之(おく かずゆき)



- 1 食物栄養科学部発酵食品学科
- 2 食品化学、食品機能学、糖質科学
- 3 明治大学農学部農芸化学科(工学博士:東京工業大学)
- 4 釣り(食べられる魚は釣れませんが)

- 5 チームパチスタの栄光、ナイチンゲールの沈黙、ジェネラル・ルージュの凱旋、螺鈿迷宮(海堂尊)
- 6 地元に根付いた温かい大学ですね。学生時代は「あっ!」という間に過ぎてしまいます。今しかできないことにチャレンジして、様々なことを学んでください!!

佐藤 哲哉(さとう てつや)



- 1 国際経営学部国際経営学科
- 2 観光経営
- 3 慶応大学経済学部
- 4 ゴルフ、音楽(何でも)鑑賞

- 5 「ザ・ディリー・ドラッカー」最近、日めくりで読んでいます。著者の溢れる見識に感服します。
- 6 地域にしっかりと根差した大学です。この根から大きく枝葉を伸ばしましょう。

安藤 茂樹(あんどう よしき)



- 1 国際経営学部国際経営学科
- 2 コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、内部統制
- 3 多摩大学大学院経営情報学研究科修士課程  
金沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻修士課程
- 4 旅(竹富島、波照間島など)
- 5 「言志四録を読む」井原隆一
- 6 自発的に自己の能力を高めようとする強い意志があれば、すべての道は拓かれる。

羽生 正宗(はにゅう まさむね)



- 1 国際経営学部国際経営学科
- 2 管理会計、経営分析、医療福祉経営戦略論
- 3 九州大学大学院医学系学府医療システム学専攻博士課程中退
- 4 温泉めぐり、映画鑑賞
- 5 「ムハマド・ユヌス自伝」  
バングラデシュの貧困の撲滅にめざましい成功を収めた人物(ノーベル平和賞受賞者)その方法論は必読!
- 6 なりたい自分をイメージしよう!  
明るい自分を!!楽しい大学生活の中で!!

宿 元明(しゆく げんめい)



- 1 国際経営学部国際経営学科
- 2 経営情報論、経営工学
- 3 広島大学大学院社会科学研究科・経済学専攻・博士課程後期修了
- 4 読書、スポーツ、旅行
- 5 最近、特に愛読書がありませんが、他分野の書物を興味本意で読み当たっています。
- 6 元気、健康、楽しい大学生活を送ってください!

中道 眞(なかみち まこと)



- 1 国際経営学部国際経営学科
- 2 国際経営論、多国籍企業論、企業の社会的責任論
- 3 龍谷大学大学院経営学研究科経営学専攻
- 4 お笑い(喜劇、落語、他)温泉、散歩
- 5 『ジッドゥ・クリシュナムルティ』『自我の終焉』

インドの哲学者・教育者で多数の書がある中の一冊。自分の外の世界にとらわれがちな私たちに、自分の中の世界があることを気づかせてくれる書。面白いので是非読んでみてください。

- 6 みなさんも私も貴重な人生の一部を大学で一緒に過ごすこととなります。楽しんで、笑顔で、一緒に歩きましょう。

鄭 玹朱(チョン ヒョンジュ)



- 1 国際経営学部国際経営学科
- 2 マーケティング論、国際マーケティング論、地域マーケティング論、ファッションマーケティング論
- 3 中央大学大学院商学研究科・商学専攻・博士課程後期
- 4 水泳、ボウリング
- 5 「ファッションビジネス概論」  
新分野であるファッション・マーケティングという研究に入る入口になった本です。ファッションをわからない人がかかってくる興味をもてる本だと思います
- 6 伝統(100周年)のある大学、有名な温泉の所にある立派な大学という印象。先生方、職員の方々がみなさんやさしいです。  
学生に!...まず別府大学を好きになって、やりたいものをしっかり見つけたらよい。

高木 正史(たかき まさし)

1. 国際経営学部国際経営学科
2. 会計学、国際会計論、教科教育学、ファカルティ・ディベロップメント論
3. 福岡大学大学院商学研究科博士課程後期商学専攻
4. トレーニング、ドライビング
5. 朝日新聞社会部編『日航ジャンボ機墜落 - 朝日新聞の24時』  
本書は読者に強烈な衝撃を与え、人生の意義を我々に明瞭に訴えかけてくる。学生には必読の書である。
6. 本学は、あらゆる面で大学が大学として機能している。よって別府大学の学生は幸せな環境にいる。ならば、4年間、この貴重な時間を主体的に濃密にして欲しい。



中川 隆(なかがわ たかし)

1. 国際経営学部国際経営学科
2. 農業経済学、食料流通学、畜産経済学、食農連携の構築、食の安全
3. 九州大学大学院農学研究院
4. 旅行、水泳、美術館めぐり
5. 「老人と海」  
勇気、希望、愛、生、死...人生のエッセンスが凝縮された珠玉の短編小説です。
6. 「人よし、環境よし、すべてよし」の印象を持ちました。希望に胸をはずませて福岡の大学に入学した頃の自分をふと思い出しました。自分次第で大きく可能性が拓ける、これからのあなたたち学生の人生。Challengeあるのみ。そしてNever give up!!!



角田幸太郎(すみた こうたろう)

1. 国際経営学部国際経営学科
2. 財務会計
3. 北海道大学大学院経済学研究科 現代経済経営専攻博士課程後期
4. サッカー観戦、スキー、英国旅行
5. ミシェル・フーコー著『監獄の誕生 - 監視と処罰 - 』(新潮社)1977年。
6. 海あり山あり温泉ありで、大変恵まれた環境の大学です。充実した学生生活を送りましょう!



真部 健(まなべ けんいち)

1. 短期大学部・食物栄養科
2. 教職・英語
3. 広島大学教育学部高校教員養成課程外国語
4. 海釣り&野球観戦
5. 「一個人」  
社会の大きな変革の中、多忙な生活をおくっている私たちに、何かホッとしたものを感じさせてくれる。砂漠の中のアオアシのような雑誌です。
6. 一人ひとりを大切にしたい教育を行っている大学であるとの印象を受けました。学生の皆さんには高い志を抱き、その実現に向けて情熱をもって挑戦してほしいと思います。



衛藤 大青(えとう だいせい)

1. 短期大学部・食物栄養科
3. 日本大学生物資源科学研究科応用生命科学専攻博士課程前期
4. 読書
5. 「火車(宮部みゆき)」  
「トコトンやさしい発酵の本(協和発酵工業(株)編)」
6. 印象、教職員と学生の距離がとても



近い。

一言、早く大学に慣れたいと思っています。よろしくおねがいします。

久保田貴子(くぼた たかこ)

1. 短期大学部・初等教育科
2. 幼児教育・幼稚園実習等
3. 大分大学教育学部 小学校教員養成課程
4. スイミングスクールに通うこと
5. 『ハイジ』J・シュペーリ作  
目の前に生き生きと描かれる自然描写とハイジの心の動きは何度読んでも素敵です。
6. 時間も体力もたっぷりの学生時代、大いに学びましょう。



山村 靖彦(やまむら やすひこ)

1. 短期大学部・初等教育科
2. 社会福祉学
3. 大分大学大学院福祉社会科学部研究科
4. 棚田探索、地図を見ること
5. 「君たちはどう生きるか」吉野源三郎著  
真理を追求することの大切さを教えてくれる一冊です。
6. 自分で描いている夢に負けたくないようがんばりましょう、お互いに。



倉光 美保(くらみつ みほ)

1. 短期大学部・初等教育科
2. 幼児教育・心理学
3. 岡山大学大学院教育学部教育学研究科学校教育専攻 幼児教育講座  
ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻臨床心理学コース





4. クラシックバレエ、プロレス観戦
5. 鈴木真一さんの「春を待つ季節」です。ちょっと切ないけれど心が温かくなります。
6. 新入生のみなさんと一緒に、私も別府大学1年生です。みなさんと素敵な経験をしながら、一緒に成長していけたらと思っています。

中山 正剛(なかやま せいごう)



1. 短期大学部・初等教育学科
2. 運動生理学
3. 九州大学大学院博士課程 人間環境学府行動システム専攻
4. スポーツ全般(特に野球)
5. 『巨人軍論 - 組織とは、人間とは、伝統とは - 』野村克也 組織観やリーダー観も学ぶことができます。
6. 印象:国際色豊か  
一言:『人生歩んだ道が正解』です! 軸を持って突き進んで下さい!

神田 誠一(かんだ せいいち)



1. 短期大学部・地域総合科学科
2. 商業学。簿記学
3. 大分大学経済学部経営学科
4. 写真 旅行 野外散策
5. 人間の条件 五味川 純平  
不条理の中で信念を貫く姿にあこがれた。人間は、どんな過酷な環境でも生き抜く悪戦苦闘能力が必要だ。
6. 知的刺激が一杯。国際的雰囲気たっぷり。部屋を出よう。友と語ろう。講演会やイベントに参加しよう。乱読しよう。可能性の扉は自身の手で開けよう。

于 航(ウコウ)

1. 短期大学部・地域総合科学科
2. 観光地理学
3. 千葉大学大学院・自然科学研究科 人間環境デザイン科学専攻博士課程後期
4. 旅行・料理・貯金・買い物
5. 『論語』  
「温故知新」、「不恥下問」、「誨人不倦」などなど短かい言葉ですが、礼節、道徳、修身、教育などにおいて、一生涯の指針となります。
6. 印象:暖かい温泉に囲まれた温かい雰囲気の温かい大学です。  
一言:「頑張る」という言葉が大好きです。「頑張る」とは辞書の解釈によると、「困難にめげないで我慢してやり抜く」ことです。将来社会人になる準備として、在学中の今から負けない意志力、我慢する忍耐力とやり抜くための行動力を少しずつ身につけましょう。新任の私の含めて、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。



吉田 光則(よしだ みつのり)



1. 法人事務局財務部参与
3. 富山大学
4. 居合道(教士)
5. 歴史小説
6. 落ち着いた学園といます。学生には自分自身の可能性を探究し、磨いてほしいと思います。

中庭 亜弓(なかにわ あゆみ)



1. 教務課食物栄養科学部出向実験助手
3. 別府大学食物栄養科学部
4. 体を動かすこと
5. .99のなみだ

6. 出逢いを大切に、1度きりの学生生活で最高の思い出を作って下さい。

野尻真美子(のじり まみこ)



1. 教務課食物栄養科学部出向実験助手
3. 別府大学食物栄養科学部
4. 買物、旅行、体を動かすこと
5. 『バッテリー』あさのあつこ著
6. 大学で出会った友達は一生の友達だと思います。沢山思い出をつくって1日1日を大切に過ごして下さい。

甲斐 由華(かい ゆか)



1. 教務課短期大学部食物栄養科出向実験助手
3. 別府大学食物栄養科学部
4. 料理、映画鑑賞
5. 『ハリーポッター』シリーズ
6. 学科も多く、多彩な学校だと思つので色々なことに挑戦して視野を広げて欲しいと思います。

古木 生毅(ふるき せいき)



1. 大学事務局入試広報部
3. 別府大学文学部文化財学科
4. 登山、マラソン
5. 八十日間世界一周 ジュール・ヴェルヌ
6. 今まで以上に多くの出会いがあります。どんな人ともコミュニケーションがとれる、そんな力を是非身に付けて下さい。

# 学校法人別府大学の事業報告

## 1. 学園創立100周年記念行事・事業

学校法人別府大学は、平成20年5月、創立100周年記念式典を教職員、保護者、学生など約5,000名の参加を得て実施した。この式典において、本学は100年の歴史の重みを深く受け止め、次なる100年に向けて常に時代を先取りした取組に努めるなど優れた教育研究を展開するとともに、学園を挙げて社会のニーズに応え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す意向を表明した。

## 2. 学部・学科の設置等

### (大学・短期大学部門)

社会的要請や時代的背景を踏まえ、平成21年4月1日からの新たな方向を目指し、次の大学改革を推進した。

- (1) 文学部の改組及び発酵食品学科の名称変更を取組むとともに、国際経営学部の新設に取組み、平成20年10月31日付けで文部科学大臣の認可を受けた。
- (2) 外国人留学生に対する日本語教育をより体系的に実施するとともに、効率的な対応を図るため、日本語教育研究センターを設置し、また、別科日本語課程との連携を図ることとして、両者を統括する留学生教育機構を整備することなどの見直しを行った。

## 3. 教育研究活動

### (大学・短期大学部門)

- (1) 「地域連携研究コンソーシアム大分」等の共同研究等の推進

県内の大学等と連携した「地域連携研究コンソーシアム大分」の共同研究や留学生の支援を主たる業務とする「大学コンソーシアムおおいた」の活動を

推進するとともに、教育や大学運営などを含めた総合的な大学間連携を推進するため、大分大学が文部科学省から事業の認定を受けた平成20年度「戦略的  
大学連携支援事業」に連携校として参画し、その推進を図った。

- (2) 大分大学との間で学部学生の単位互換を推進

大分大学との間で学部学生の単位互換を推進するため、平成18年度に協力協定を締結し、平成20年度前期から実施した。

- (3) 教育内容の改善等

学長及び各学科の教員が報告者となってファカルティ・ディベロップメント(FD)研修会を平成20年6月から平成21年3月の間に実施し、各学科の教育内容や授業方法等の改善に努めた。また、ファカルティ・ディベロップメント(FD)の一環として、平成20年12月と平成21年3月に外部から講師を招へいし、「大学における知的財産の管理と活用」等をテーマとした教職員啓発セミナーを実施した。

短期大学部専攻科初等教育専攻及び福祉専攻が5カ年毎に行われる独立行政法人大学評価・学位授与機構の「教育の実施状況等の審査」を受け、『適』の認定を受けた。

- (4) 外部資金(競争的資金)の獲得

外部資金の獲得に向けた取組を推進するため、大学事務局に大学企画室を設置し、科学研究費補助金をはじめとする競争的資金等の獲得に向けた支援体制を整備した。

文部科学省等からの主な外部資金は、大学部門では、別府大学メディア教育・研究センターのサイバーキャンパス整備事業(継続2年間の初年度)、

附属図書館の次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業総合目録データベース遡及入力事業等、短期大学部では、地域総合科学科の学生支援G P「進路支援対策一環システムの構築」(継続2年目)である。

地方公共団体等からの受託研究事業を22件受け入れるとともに、地域との連携を積極的に推進した。

(5) 高度情報化への対応とその充実・強化

メディア教育・研究センターを核として、授業に使用するメディアを用いてのコンテンツ・教材の開発、大分キャンパスと別府キャンパスとの双方向遠隔授業の計画・実施に向けた取組を引続き実施した。

国立情報学研究所から「平成20年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業総合目録データベース遡及入力事業」が私立大学としては初めて認められ、総合目録のデータベース化を図った。これにより、蔵書の検索機能を飛躍的に向上させた。

(附属学校部門)

(1) 明豊高等学校では教育課程を見直し、特別編成部においては、5教科の指導計画を充実させ、単位制・選択制クラスにおいては、各学系に応じた単位制を充実させた。また、オープンキャンパスを文化祭と同時に企画し、生徒や保護者等に教育活動や進路状況等を幅広く紹介した。

(2) 明豊中学校では、「チャレンジクラス」、「特別編成クラス」に分けて生徒を募集し、将来の進路設定に応じた授業内容とした。特に特別編成クラスにおいては、5教科を中心に工夫した授業を実施した。

4. 国際交流活動

- (1) 創立100周年記念事業として「日韓学生交流プロジェクト2008」を開催した。韓国の8大学から学生・教職員18名が参加するなど国際交流の成果を上げた。
- (2) 別府大学国際セミナーを夏・冬2回実施し、海外から307名の学生を受け入れ、日本語・日本文化の理解に努めた。

5. スポーツ・文化芸術活動の充実・強化

- (1) スポーツ部門においては、アーチェリー部が九州大会で優勝するとともに、全国大会でも優秀な成績を収めた。剣道部女子が九州大会で準優勝し、なぎなた部が全国大会で優勝するなどその活躍が顕著であった。また、中学校の卓球部が九州大会で優勝し、高等学校の卓球部も国民体育大会で準優勝するなど優秀な成績を収めた。さらに高等学校野球部が春の選抜高等学校野球甲子園大会に出場するなど活躍が顕著であった。
- (2) 芸術・文化部門においては、創立100周年記念事業として、各種の公開講座及びセミナー・シンポジウムを開催し、広く地域社会へ教育研究成果の公表に努めた。また、高等学校の将棋部が全国大会女子個人の部で優勝するなど優秀な成績を収めた。

6. 学生支援活動(就職活動支援)等

- (1) キャリア(資格・就職)支援の充実・強化  
進路情報課が就職委員会、教職課程委員会等の委員会及び各学科の教員と連携協力して、資格取得や就職対策の講座及び学内外の企業合同説明会を開催するなど学生の就職支援の充実に努めた。

学生の進路支援対策をより充実させるため、平成19年度に学生支援G P「進路支援対策一環システムの構築」で整備した進路支援プラザをさらに進展させ、新たに電子カルテ作成ソフトを開発・運用した。また、進路対策講座、SPI対策セミナーの実施、産官学シンポジウムや教職員FD等を一元的に実施することにより、学生の多様な進路選択の実現を図った。

(2) 新入学生に対する入学前準備教育の実施

平成21年度の入学予定者を対象として、入学後に授業等への取組みが円滑に行えるように「パソコン講座」や「ピアノレクチャー講座」、授業科目の説明、個人面談等を実施した。

(3) 生活相談等の支援

学生寮（民間住宅借上）の確保や健康相談、悩み相談等に対する学生支援を行うため、学生課及び保健室に相談窓口を設けた。特に学生の悩みへ適時・適切に対応するため、いつでも常勤教職員（臨床心理士）8名によるカウンセリングが利用できる体制を整備した。

(4) 全学オープンキャンパスの実施

大学・短大合同による全学オープンキャンパスを4月、6月、8月及び11月に実施するとともに、学生募集担当教員による高等学校訪問や高大連携の一環としての出前授業等を実施した。

7. 学生・生徒・児童・園児（以下「学生等数」という。）の在籍者数

学校法人全体の学生等数は、次の表のとおり5,153人、前年度より306人減少した。

平成20年5月1日現在、単位：人

学 校	学 科 等	H20 年度
別府大学	大学院	108
	文学部	1,854
	食物栄養科学部	377
	別科日本語課程	70
	大学小計	2,409
別府大学短期大学部	食物栄養科	105
	初等教育科	301
	地域総合科学科	309
	保育科	120
	専攻科 (福祉・初等教育)	61
	短大小計	896
明豊高等学校	全日制課程・ 通信制課程	589
明豊中学校		138
明星小学校		290
附属幼稚園		140
明星幼稚園		199
附属看護専門学校	全日制課程・ 通信制課程	356
境川保育園		68
春木保育園		68
	学校法人合計	5,153

# 学校法人別府大学の財務状況

## 資金収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：百万円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,439	3,435	4
手数料収入	59	59	0
寄付金収入	63	71	8
補助金収入	1,033	1,031	2
国庫補助金収入	622	614	8
地方公共団体補助金収入	411	417	6
その他補助金収入	0	0	0
資産運用収入	100	103	3
資産売却収入	0	0	0
事業収入	429	433	4
雑収入	108	129	21
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,723	1,509	214
その他の収入	1,629	1,589	40
資金収入調整勘定	1,744	1,790	46
前年度繰越支払資金	3,770	3,770	0
収入の部合計	10,609	10,339	270

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,149	3,153	4
教育研究費支出	1,048	962	86
管理経費支出	404	393	11
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	1,018	956	62
設備関係支出	176	159	17
資産運用支出	704	704	0
その他の支出	310	312	2
予備費	10	0	10
資金支出調整勘定	174	172	2
次年度繰越支払資金	3,964	3,872	92
支出の部合計	10,609	10,339	270

## 消費収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：百万円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,439	3,435	4
手数料収入	59	59	0
寄付金収入	71	90	19
補助金収入	1,033	1,031	2
国庫補助金収入	622	614	8
地方公共団体補助金収入	411	417	6
その他補助金収入	0	0	0
資産運用収入	100	103	3
資産売却差額	0	0	0
事業収入	429	433	4
雑収入	108	129	21
帰属収入合計	5,239	5,280	41
基本金組入額合計	138	165	27
消費収入の部合計	5,101	5,115	14

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,125	3,121	4
教育研究費	1,560	1,473	87
管理経費	462	442	20
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	66	59	7
徴収不能額	11	13	2
予備費	10	0	10
消費支出の部合計	5,234	5,108	126
当年度消費収入超過額	133	7	
前年度繰越消費収入超過額	268	268	
基本金取崩額	0	0	
翌年度繰越消費収入超過額	135	275	

## 貸借対照表

平成 21 年 3 月 31 日現在

(単位：百万円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	23,917	23,969	52
有形固定資産	15,732	15,226	506
土地	3,995	3,995	0
建物	8,315	7,664	651
構築物	715	734	19
教育研究用機器備品	1,152	1,186	34
その他の機器備品	116	117	1
図書	1,258	1,232	26
車輛	12	17	5
建設仮勘定	169	281	112
その他の固定資産	8,185	8,743	558
借地権	25	25	0
電話加入権	0	0	0
施設利用権	457	457	0
有価証券	3	3	0
各種引当特定預金	7,700	8,258	558
流動資産	4,073	4,070	3
現金・預金	3,872	3,769	103
未収入金	157	279	122
前払金	27	14	13
貯蔵品	17	8	9
資産の部合計	27,990	28,039	49

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,146	1,178	32
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	1,146	1,178	32
流動負債	1,732	1,921	189
短期借入金	0	0	0
未払金	162	249	87
前受金	1,509	1,620	111
預り金	61	52	9
負債の部合計	2,878	3,099	221

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号基本金	22,694	21,704	990
第 2 号基本金	388	1,218	830
第 3 号基本金	1,400	1,400	0
第 4 号基本金	355	350	5
基本金の部合計	24,837	24,672	165

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	275	268	7
消費収支差額の部合計	275	268	7
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	27,990	28,039	49

## 監事監査報告書

### 財産目録

平成 21 年 3 月 31 日現在	(単位：百万円)
資産総額	27,990
内 基本財産	15,962
運用財産	12,028
収益事業用財産	0
負債総額	2,878
正味財産	25,112

学校法人別府大学  
理事長 日高 紘一郎 殿

平成21年 5 月12日  
学校法人別府大学

監事 此本 英一郎 (印)  
監事 三浦 義人 (印)

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	187,490㎡ 3,789
建物	84,355㎡ 8,269
図書	331,991 冊 1,258
教具・校具・備品	14,767 点 1,268
その他	1,378
小 計	15,962
2 運用財産	
現金預金	3,872
積立金	7,700
土地	3,030㎡ 206
建物	673㎡ 46
その他	204
小 計	12,028
3 収益事業用財産	0
資産総額	27,990
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0
退職給与引当金	1,146
2 流動負債	
短期借入金	0
前受金	1,509
その他	223
負債総額	2,878
正味財産(資産総額 - 負債総額)	25,112

私たち監事は、私立学校法第37条第3項および学校法人別府大学寄附行為第15条に基づき、平成20年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）における学校法人の業務及び財産の状況について監査を行い、次のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法

- (1) 理事会および評議員会に出席して業務の報告を聴取し、また重要な決裁書類等を閲覧し、業務の妥当性を検討しました。
- (2) 重要な財産については、会計帳簿と証憑書類との実査、照合等を行いました。また、公認会計士から会計監査の報告を受け、あるいは適時その監査に立ち会い、計算書類等の妥当性を検討しました。

#### 2. 監査意見

- (1) 学校法人別府大学の業務は適正であり、その計算書類等は学校法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

# 別府大学 平成22年度 入学試験日程

## 文学部・国際経営学部・食物栄養科学部

### 推薦入試

種別	学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表	手続締切日			
推薦1期	全学科	2009年11月2日(月)~2009年11月10日(火)	11月13日(金)	本学 本学・北九州・福岡・長崎・熊本・ 延岡・宮崎・鹿児島・那覇	11月21日(土)	11月30日(月)			
推薦2期		2009年12月1日(火)~2009年12月9日(水)	12月12日(土)				本学	12月18日(金)	12月25日(金)
推薦3期		2010年1月6日(水)~2010年1月15日(金)	1月20日(水)						

食物栄養学科は推薦3期を実施しない。

### 一般入試

種別	学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表	手続締切日
A日程1・2	全学科	2010年1月12日(火)~2010年1月25日(月)	2月1日(月)	2 / 1 本学・広島・北九州・福岡・長崎・熊本・ 延岡・宮崎・鹿児島・那覇 2 / 2 本学・福岡	2月9日(火)	2月18日(木)
B日程			2月2日(火)			
センター 利用1期		2010年2月4日(木)~2010年2月12日(金)	2月18日(木)	本学	2月25日(木)	3月8日(月)
C日程		2010年2月23日(火)~2010年3月5日(金)	3月9日(火)			
センター 利用2期			3月26日(金)	本学	3月27日(土)	3月31日(水)
D日程		2010年3月11日(木)~2009年3月24日(水)	3月26日(金)			
センター 利用3期	3月27日(土)		3月31日(水)			

食物栄養学科はD日程を実施しない。

## 短期大学部

### 推薦入試

種別	学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表	手続締切日
推薦1期	全科	2009年11月2日(月)~ 2009年11月10日(火)	11月13日(金)	本学・那覇	11月21日(土)	11月30日(月)
推薦2期		2009年12月1日(火)~ 2009年12月9日(水)	12月12日(土)			

### 一般入試

種別	学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表	手続締切日
A日程	全科	2010年1月12日(火)~ 2010年1月25日(月)	2月1日(月)	本学・北九州・福岡・長崎・熊本・延岡・宮崎・鹿児島・那覇	2月9日(火)	2月18日(木)
B日程			2月2日(火)			
センター 利用1期		2010年2月4日(木)~ 2010年2月12日(金)	2月18日(木)	本学	2月25日(木)	3月8日(月)
C日程		2010年2月23日(火)~ 2010年3月5日(金)	3月10日(水)			
センター 利用2期			3月27日(土)	3月31日(水)		
センター 利用3期		2010年3月11日(木)~ 2010年3月24日(水)	3月27日(土)		3月31日(水)	